

第 2 回草津市総合計画審議会における主な意見とその対応について

○は審議会での意見・対応

→は審議会後の事務局対応

主な意見	対応
【(1) 第 5 次草津市総合計画の総括評価について】	
<p>● 2 ページのグラフ「総合的に住みやすいまちである」の評価について、お住まいになっている年月の違い、性別や年代などクロス集計を行い分析したほうが、第 6 次総合計画に生かせるのではないかと。事務局では男女別でも世代別でも、回答の傾向に大きな差がないことを把握されているとのことであったが、多くの方に同様の傾向が出ているということは重要なデータであり、特徴的なものは資料として示してはどうか。</p>	<p>→ <u>将来ビジョンの検討資料内にクロス集計の特徴的な結果について記載しました。</u></p>
<p>● 総括評価シート（分野別）の分野「男女共同参画」について、第 3 期基本計画策定時の現況として「固定的な性別役割分担意識が依然として解消されず男女の不平等感が暮らしの様々な場面で残っています」とあるが、これはどのようなデータをもとに評価をしたのか。また、「性別にかかわらず個性と能力が十分に発揮されるよう男女共同参画の社会づくりをさらに進めていく必要があります」とあるが、行政側が評価しているのは、自治体やまちづくり協議会の女性委員の数ではないか。これ以外にも市民活動等が行われているが、評価指標には載っていないため、第 6 次総合計画に関してはこのようなところも評価の対象としていただきたい。</p>	<p>○ どのようなデータをもとに評価をしたかについては、担当課に確認をさせていただき、後日回答させていただきます。委員の御指摘を担当課にも共有させていただき、第 6 次総合計画では指標の設定について、慎重に考えてまいります。</p> <p>→ <u>例年実施している市民意識調査において、ベンチマークの指標でもある「男女共同参画が進んでいると思う市民の割合」は 20%以下と低く、その結果から評価させていただいております。</u></p>
<p>● 2 ページの折れ線グラフについて、「住みやすいまち」、「住み続けたいまち」は、まちづくりに最も基本的なところになるかと思うが、全体的に増加傾向とは言え、この平成 28 年の部分だけ少し低い数値になっているのはなぜか。</p>	<p>○ 平成 28 年下がった理由については詳細な分析を行っていないため、後日回答させていただきます。</p> <p>→ <u>回答率や回答者、他の指標について分析を行いました。平成 27 年度と平成 28 年度について大きな傾向の違いは見られませんでした。</u></p>
【(2) 第 6 次草津市総合計画 基本構想前段部分（案）について】	
<p>● 「草津市の特性」の中の「多彩な魅力を感じられるまち」について、駅周辺のことばかり記載されており、これ以外の内容も書けないか。</p>	<p>○ 駅周辺の市街地整備を中心に草津市が発展してきたという経緯があり、このような記載をしておりますが、記載については再度検討いたします。</p> <p>→ <u>御意見を踏まえて、「多様な魅力を感じられるまち」の内容を追記しました。</u></p>

主な意見	対応
<p>● 「草津市の特性」にハード的なことが多く書かれているが、ソフト的な部分がかかれていない。例えば、市民がどんな分野でどういう活動をされているのかなどの視点も盛り込んでいただきたい。</p>	<p>→ 「<u>社会情勢の変化について</u>」の「<u>地域コミュニティの拡充に向けて</u>」に市民活動等の内容を記載しました。</p>